



No.833
2026.6.19

発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

市内南部合唱発表会に出演 5/24 さあ次は大阪合発へ



5月24日 市内南部合発での昴の演奏

5月24日(日)、大阪市内南部地域合唱発表会が住吉区民センター小ホールで行われました。

昴は、19名の参加(指揮坂井さん、ピアノ森さん)で、「I've got Six Pence」と「リメンバー」を歌いました。

今年も希望団体が少なかったため、選抜なしで、8月2日(日)のLICで行われる大阪合発への推薦団体に選ばれました。

大阪合発まであと2か月弱、5回のレッスンですが、長野の日本のうたごえ祭典めざして、まず歌詞を完璧に覚えて指揮に集中すること、そして心を込めて歌いきれるように、一人ひとりがさらに努力していきましょう。

大阪市内南部地域合唱発表会・講評メモ

I've got Six Pence

- 集中力があり、一体感のある音楽。もっと演出してもいいのでは。
- 勢いのある明るいうた、おハコのうたですね
- 素晴らしい演奏でした。よくを云えば、ブレスが少し気になった
- 得意げにうたえています。だから曲も生きています。ブラボー！！
- さすが、いつも迫力ある歌声に聞きほれていました。
- やったぜのフレーズがかっこいいですね。楽しくきかせてもらいました！
- 冒頭のポップなリズムの響きが、厚みと軽妙さのバランスが非常に良かったです。
- テンポのいい曲、いいですね。
- 人数がずいぶん少なくなられたようですが、声だけ聞いてたら、年令を感じさせない歌声でしたし、人数も多い時のようでした。強弱、言葉のキレ、子音すばらしい。
- 若い人が歌っているような、リズムもハーモニーもさすがです。

リメンバー

- fの力強い響きは素晴らしい。シンコーペーションのリズムが揃わない。言葉が分かりにくい所はそのせいもある。息をすうタイミングも合わせたい。

6～7月の活動予定 (会議を除く)

- 6/19(金) 17:30 特別団員合同レッスン
- 〃 19:00 定例レッスン
- 6/21(日) 15:00 特別団員合同レッスン(時間変更)
- 〃 17:00 定例レッスン(時間変更)
- 7/3(金) 13:30 声楽中村教室
- 〃 17:30 定例レッスン
- 7/5(日) 14:00 昴友の会 うたごえ喫茶
- 7/7(火) 15:00 T1, T2パートレッスン
- 7/12(日) 13:00 青年祭典合同レッスン(東大阪市民多目的センター)
- 7/14(火) 13:30 声楽千秋教室 I
- 〃 18:00 Br. Bsパートレッスン
- 7/16(木) 16:30 声楽千秋教室 II
- 7/17(金) 17:30 特別団員合同レッスン
- 〃 19:00 定例レッスン
- 7/19(日) 17:30 特別団員合同レッスン(時間変更)
- 〃 19:00 定例レッスン(時間変更)
- 7/31(金) 13:30 団内コンサート (ねむかホール)
- 8/1(土) 9:30 青年祭典合同レッスン(茨木市大池公民館)
- 8/2(日) 大阪合唱発表会(LICはびきの)

○集中した演奏です。男声コーラスの魅力がよく発揮されています。各パートの声がよく統一されて、力のある演奏になっています。ラストのコーダのところややタテ線がそろいません。指揮を見て、自分のメロディーを良く意識して歌いましょう。

○plになった時の発声、ナイショうたになっている。もう少し丹田で支え、シンのある発声心がけて下さい。広島・長崎の言葉、時々分からない所があった。最後の広島・長崎は良かった。

○一人ひとりが平和を伝えたいと歌っている。その姿に生き生きとした老いている青年を観ました。リックでもがんばろう。全国へはばたけ！！声のびやかです。昴復活です。

○平和への思いがひしひしと伝わってきました。人数にふさわしい迫力ある歌声でした。

○リメンバー！そこへのもりあげ方よかったです。

○「リメンバー、ヒロシマ・ナガサキ」と盛り上がる部分に強引さがなく、美しい響きの中で実現されていたのが特に印象的でした。

○男声、力強くすてきです。

○迫力があつた。言葉のばらつきが少し見られたが、早口でのところで、そこがよい。

○厚みのあるハーモニー！内容も訴えてくるものがある。これからもこのように前に進んで下さい。楽しみにしています。

全体として

○選曲がとてもいい。自信を持ってうたえています。ハーモニーもすばしかったです。

○トップ・セカンドの響き、バリトン・バスの重厚感、去年以上の物を聴かせて頂きました。

2026年大阪市南部地域合唱発表会 講評者としての雑感

Bs 丹下 務

合唱発表会の、審査員を引き受けた。これを機会に、じっくりと出演団体のうたごえを聞いてみようと思った。

他方、後悔した部分もある。それは、肝心の審査をどうするかと言う自分なりの基準がはっきりしていない。

色々と考えたが、偉そうな理屈は無し。目を閉じて、聞いて、良いと思ったものを良しとしよう、と決めた。

5月24日(日)大阪市住吉区民センター。昼前、すでに、夏かと思わせる真っ青な空、暑かった。発表団体は、個人出演を含めて、全14団体。

審査員から講評者へ

12時30分、審査員への説明会が開かれた。その席上、「本大会は、出場団体が希望すれば、希望団体すべてが、大阪地区合唱発表会に出場できるようになりました」旨事務局から報告があり、審査員の役は解かれ、講評者になりました。随分と気が楽になりました。

講評者としての感想

出場団体すべてに共通するのは、人数が少ない。混声においては、男性が少ない。勢い、合唱にドキッとさせるハーモニーと勢いが不足する。

講評会議でも問題提起され、人数が増えている唯一の団体、ウイングスの活動が紹介された。「ホームページの有効活用」とのこと。

私の講評、二つ目

圧倒的に、発声が不十分であること。混声4部において、男声部の薄さゆえに、高音強声域において、頑張りすぎ、声かはみ出す、故に聞かせ処のハーモニーが崩れる。身の程知らずなことを書きましたが、御免、失礼いたします。

市内南部合発の感想

声楽講師 中村聖保

本番は、団結力があつた演奏でよかったですね。リハーサルでズレたからこそ修正ができて、かえって良かった気がします。ちょっと不安な箇所はありましたが、何とか持ちこたえられてホッとされたと思います。

指揮者のテンポ感についていこうという方や、自分自身と一体感を持ち歌っている方、様々だったと思いますが、客席では、「リメンバー」集中力のある演奏に聴こえました。「Six Pence」は、歌詞に合う音色の変化、良い意味で面白く、音楽が絵になって伝わる感じや、イキイキ感が良かったです。

初めてのホール、立ち位置で客席に届く音量や、聴こえ方が微妙に差が出て、各合唱団、リハーサルから苦慮されたかもしれません。妙に残響して、騙されそうになる落とし穴あったことと思います。

タイムも気にされつつの2曲、リックに向けさらに精進頑張ってください♪

低声部、よく響いていて良かったです。本番では、あまり音程も下がらず歌われたので良かったです。

追伸

コスモスからの、昴衣装チェンジも大変でしたね。

「リメンバー」資料 2

(2013. 10、佐藤しのぶCD発売)

■忘れない 歌に誓う 未来を危険にさらすのか 作詞家・なかにし礼さん

「平和の歌をぜひ」という佐藤しのぶさんの決意に動かされました。旧満州の戦争体験を語り継ぐ使命感から「赤い月」を書いた私にも、核廃絶の歌を書いてみたいという思いがありました。世界で最初に広島が体験した被爆は、長崎が最後であってほしいと。では、どう書くか。そんな時でした。オノ・ヨーコさんが『リメンバー・ヒロシマ、ナガサキ』と語る朝日新聞の記事に出会ったのは。いま、被爆国日本が世界に発信できる言葉はこれしかないと思いました。2009年のオバマ米大統領のプラハ演説で、世界は核廃絶に多少なりとも進むのではとの淡い希望もあった。このフレーズを軸に歌詞作りを進めました。

「リメンバー」の曲が完成したのは11年2月。その直後の翌3月、東日本大震災と福島第一原発事故が起きました。「なぜ今、広島・長崎なの」と思われぬか。そんな心配から、発表の無期延期を決めました。

でも、時は流れ、人間の手に負えない核の姿があらわになりました。広島・長崎を1次とすれば、福島は2度目の被曝(ひばく)です。核そのものの存在に対して物言うべき時ではないか、と作品を世に出すことにしたのです。3・11があつたがために、歌には核兵器廃絶だけでなく、脱原発のメッセージも宿りました。運命的なものを感じます。

旧満州で国家による「棄民」を体験した私は、福島事故対応にも同じものを予想できました。「原子力帝国」の著者ロベルト・ユンクは「核エネルギーを持つてはいけない。政治権力者にウソをつかせるから」と述べています。脱原発を決めたドイツのように、日本も方向転換すべきです。

若い人たちに伝えたい。あなた方の未来はあなた方のものです。それを核で危険にさらすのでしょうか。

(朝日新聞 2014年6月8日掲載)

なかにし・れい 1938年、中国黒竜江省(旧満州)生まれ。ヒットメーカーの作詞家として活躍後、小説「長崎ぶらぶら節」で直木賞受賞。引き揚げ体験を描いた「赤い月」は映画化された。

うたごえ喫茶

貴女も、貴男も、懐かしい唱歌や青春時代の思い出の歌など、思いっきり声を出して歌う2時間です。
ピアノの伴奏で、みんなと一緒に? それとも、お一人で?
なつかしい思い出のひとときを、過ごしませんか?

日時 : 2026年 7月 5日(日)
午後2時より 約2時間
場所 : なむかホール
費用 : 500円
主催 : 男声合唱団 昴 友の会



4か月ぶりのうたごえ喫茶です。うたごえ喫茶が、楽しく歌い交わすことができる催しになることがなによりも大切ですが、昴の今後のためにも、一人でも多く来てもらえぬよう力を尽します。ごまじゅう。